



富合中学校 学校だより 第21号

令和5年7月6日（木）発行

文責 校長 林田武海

～ 笑顔があふれ 生き生きと輝く 富中生 ～



## 〈“合格田”の田植え体験活動（1年生）〉

雨天が続き梅雨明けが待ち遠しいところですが、今日は気温30℃を超える真夏日。朝から強烈な日差しが照り付け、厳しい暑さになりました。曇りの天気を望んでいましたが天気予報どおりの好天に恵まれ、本校で長年続いている伝統行事である“合格田”の田植えを本日実施できました。

〈“合格田”関連の取組予定〉

7月：田植え（1年生） 8月：除草作業（2年生） 11月：稲刈り（3年生）

※収穫したもち米は六殿宮に奉納して3年生の受験合格祈願をします。

“合格田”は、村崎義春 様（榎津）が所有しておられる田んぼを提供していただいております。今日は指導者として本田慶信 様（南田尻）や青年農業者クラブの皆様にご協力いただきました。ほとんどの生徒にとって田植え体験は初めて。地域の方々の説明をしっかりと聞き、いざ田植え開始。足元を思うように動かさず、特に最初は悪戦苦闘しましたが1本1本ていねいに手植えしていきました。田んぼの東側半分を男子が、西側半分を女子が受け持ち、いっしょに参加してくれた



富合小学校5年生も頑張り、小中の交流もできました。

実際の米作りには田植え機やコンバイン、乾燥機などの農業機械が大活躍しますが、作物を一から育てて収穫するまでには多くの作業・手間・心配りが必要です。今日はその一部である“田植

え”を体験し、富合町の大地をしっかりと踏みしめ、土に触れまみれ、貴重な体験ができました。今日の田植えをきっかけに、米作りに対する関心が高まり、普段おいしいご飯をいただけることや農業に携わる方々への感謝の気持ちをこれまで以上に高めてもらえたことと思います。ご指導いただいた皆様、暑い中ありがとうございました。

